

奥久慈男体山山行報告

【山行日】2020年 11月 29(日) 晴れ
【集 合】道の駅「しもつけ」P AM 5:00
【費 用】マイカー2台 : 2,000円
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、石澤、
齊藤、嶋田、関、鶴見、藤原、渡辺
【コースタイム】道の駅「しもつけ」P5:00＝大円地
P6:35/6:55～奥久慈男体山 8:20/8:40～
白木山分岐 9:30～第二展望台 10:40～
第一展望台 11:20/12:00～月居山 12:30～
袋田の滝 13:50/14:10＝道の駅「みわ」
14:50/15:05＝道の駅「しもつけ」P16:20



去年の11月29日に今日のコースを歩き、カエデの紅葉が素晴らしかったので、皆さんに見せたいと思い同じ日に計画した。5時に道の駅「しもつけ」を出発し、新4号を北上して岡本橋を渡り県道10号線を東に進んで国道293号を右折する。美和の信号を左折して県道32号線を北上し、上小川駅前を通過してゆくと1時間30分で大円地の駐車場に着く。トイレが完備され、10台くらい止められる。準備を整えてトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。舗装道路を少し下り、すぐに右折したところが大円地登山口。案内板の前で記念写真を撮り、登山道に入ってゆく。橋を渡り川沿いの道を進むと分岐となり、左側の健脚コースに入る。樹林の中を急登し、沢状の地形を進むとカエデの紅葉が迎えに来て歓声が上がる。急坂を上ると枝尾根に出て、10分足らずで滝倉コースとの合流点に出る。岩場が続くロープや木の根を頼りに登ると、岩上の展望台に出て休憩する。西側から南側の展望が開け、周りの山々や麓の集落の紅葉が見渡せる。ここからはジグザグの急な登りの後、長いクサリ場が連続する。岩場に慣れない人には手強いクサリだが、クサリ場が好きな人には楽しい登りだ。クサリ場が終わると東屋がある小広い平坦地に出て、後続が登るのを待つ。全員揃ったら右の登山道を登り、ほんのひとのぼりで男体山山頂に着く。山頂からの展望は素晴らしく、北西に日光連山が見え、南方には筑波山や霞ヶ浦が見渡せる。



大休止して展望を楽しみながらミカンや菓子を食べ、記念写真を取ったら東屋まで来た道に戻る。登ってきた健脚コースの道を左に分け、北に向かって尾根道を下ってゆく。少し先の長福観音分岐



で上小川駅方面への道を左に分け、右に尾根上の道を進む。紅葉に彩られた稜線散歩が続き、とても気持ちよく歩ける道だ。白木山分岐で小休止し、リンゴやゼリーを食べ疲れた足を休める。ここから左手に急降下となり、岩には階段状に足場が切られクサリも付けられている。下り切ると左右から沢が落ちてきており、沢の合流点付近を木橋で渡る。山の東斜面や西斜面を横切るように進むが、時折カエデの紅葉が群生し目を楽しませてくれる。特に谷間の風が当たらない

場所には、まだ紅葉が多く残っている。アップダウンを繰り返して進み、見晴らしがよいヤセ尾根を進むと岩上の第二展望台に出る。西側の眺望が開けて、久慈川沿いの山々の紅葉が素晴らしい。

さらに尾根を進み、一旦鞍部まで下って登り返すと第一展望台の鍋転山に着く。第二展望台と同じく西側の展望が開け、小広くベンチがあるのでここでランチタイムとする。お湯を沸かして各自持参したカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。煮卵やキンピラ、漬物などがベンチに並び、各自好きなものを取っていただく。ランチが済んだら月居山に向かって下り、鞍部まで下ると「男体山登山口」の石柱が建つ。ここから岩交じりの急坂を登ると広くなだらかな月居山山頂に出る。山頂にはカエデの木が多く紅葉の名所で、月居城址の碑と案内板が建っている。急坂をロープを頼りに月居峠まで下り、赤い屋根の月居山光明寺観音堂に寄る。鐘撞き堂で鐘を突き、観音堂を参拝して袋田の滝に向かう。急な階段の道を月居山北嶺まで登り、少し下ると右側に生瀬滝の展望台がある。



生瀬滝の展望を楽しんだら来た道に戻り、さらに階段を下ってゆくと袋田の滝が右下に見えてくる。別名「四度の滝」と呼ばれる一番上の滝から順番に眺めながら下る楽しい階段である。下り切った所から右に「滝見橋」と呼ばれるつり橋を渡り、袋田の滝の絶景を楽しむ。滝の景色を楽しんだらつり橋を渡って戻り、土産店が並ぶ滝本まで行き予約したタクシーに乗り車回収に向かう。



S 藤さんとタクシーで大円地駐車場まで行き、車を回収して滝本まで戻り皆さんを車に乗せ岐路に着く。途中、道の駅「みわ」に寄り、野菜や果物のお土産を買い、予定よりも早く道の駅「しもつけ」に帰着した。

途中、道の駅「みわ」に寄り、野菜や果物のお土産を買い、予定よりも早く道の駅「しもつけ」に帰着した。